

標準様式第 2 号

(第 1 面)

1 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の実施状況等

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の実施状況

	取組項目	取組の内容	取組の実施状況
1	運用改善	大型空調機の運転時間や設定温度を基準化し運転管理を適切に行う	継続実施中
2	高効率電球の導入	各照明をLED電球へ取替を実施し電力量(電力費)を削減する	継続実施中
3	運用改善	深夜電力の積極利用を推進し夜間蓄熱による日中の空調負荷を軽減する	継続実施中
4			
5			
6			

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の実施状況

	温室効果ガスの種類	取組の内容	取組の実施状況
1			
2			
3			

(3) 上記の取組に係る目標の進捗に対する自己評価

運用改善について運転管理の手法は成熟しており、外気温やお客様に応じた細かな対応まで行うことが出来ております。

高効率型照明については初期導入品が更新時期にきており順次更新すると共にバックスペース、倉庫に至るまで特殊演出照明を除いたほぼ全数がLED型に変更出来ております。

深夜電力の積極利用についてはピーク電力を朝、夜にシフトすることが出来ております。

(第3面)

3 その他の低炭素社会づくりに向けた取組の実施状況等

	取組項目	取組の内容および 当該取組により達成しようとする目標	取組の実施状況等
1	リサイクル	生ゴミの堆肥化による食品廃棄物の再利用及び一部の調理食材を加工済み食材に変更するなどして排出生ゴミの減量化を行い、紙等の資源ごみを直接工場等に持ち込み3R運動を推進する	継続実施中
2	山野草プロジェクト	多様な生物の宝庫である“あぜ”の植生をモデルに、ホテルの敷地内にその環境を創出する	継続実施中
3			
4			
5			
6			
7			
8			

(第4面)

4 報告対象年度における温室効果ガスの排出量

温室効果ガスの総排出量		3317 t - CO ₂
温室効果ガスの種類別の排出量内訳	エネルギー起源CO ₂ (内訳は別紙のとおり)	3317 t - CO ₂
	非エネルギー起源CO ₂	t - CO ₂
	CH ₄	t - CO ₂
	N ₂ O	t - CO ₂
	HFCs	t - CO ₂
	PFCS	t - CO ₂
	SF ₆	t - CO ₂
	NF ₃	t - CO ₂

備考 「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。